

授業科目名	授業形態	単位数	担当教員名
子ども学ゼミC	単位認定	1	藤井裕子

記載不要

【授業のテーマ及び到達目標】

テーマ: よりよい人間関係を形成し保育・教育に生かす

到達目標: 1、臨床心理学の視点から自分理解、他者理解を深め日常場面でも応用できる。

2、保育・教育の場における人間関係の在り方をとらえ、実際の場面に生かす力として実践できる。

3、保育の教材作りを通して協力し合う人間関係の発展を実行する。

【授業の概要】

保育や教育の意場では協力し合うチームワークやよりよい人間関係を作ることは重要である。本ゼミでは、自己理解や他者理解を深め、互いに支えあい高め合えるリレーション・シップについて実践的な演習を通して獲得していくことをめざす。各自の興味関心に基づいて取り組み、人間力を身につけ自分自身の可能性が広がるように講義と演習を進める。

【全体の授業計画・内容】

1、オリエンテーション

【事前学習】配布資料を読み自分なりの計画をノートにまとめる(0.5 時間)

【事後学習】学んだことや経験したことを各自のノートにまとめる(0.5 時間)

2、自己紹介と他者紹介

【事前学習】配布資料を読み自分なりの計画をノートにまとめる(0.5 時間)

【事後学習】学んだことや経験したことを各自のノートにまとめる(0.5 時間)

3、一人一人のいいところ探し

【事前学習】配布資料を読み自分なりの計画をノートにまとめる(0.5 時間)

【事後学習】学んだことや経験したことを各自のノートにまとめる(0.5 時間)

4、コミュニケーション力を育てる

【事前学習】配布資料を読みコミュニケーションについてノートにまとめる(0.5 時間)

【事後学習】学んだことや経験したことを各自のノートにまとめる(0.5 時間)

5、協力して問題解決を図る演習(1)グループワーク

【事前学習】グループに分かれてテーマの選定を予定し計画をノートにまとめる(0.5 時間)

【事後学習】学んだことや経験したことを各自のノートにまとめる(0.5 時間)

6、協力して問題解決を図る演習(2)グループワーク

【事前学習】グループごとのテーマを実行する際の各自の役割をノートにまとめる(0.5 時間)

【事後学習】学んだことや経験したことを各自のノートにまとめる(0.5 時間)

7、協力して保育の教材を作成する(1)テーマの選定

【事前学習】配布資料を読み自分なりの計画をノートにまとめる(0.5 時間)

【事後学習】学んだことや経験したことを各自のノートにまとめる(0.5 時間)

8、協力して保育の教材を作成する(2)準備

【事前学習】配布資料を読みグループごとに準備する材料をノートにまとめる(0.5 時間)

【事後学習】学んだことや経験したことを各自のノートにまとめる(0.5 時間)

9、協力して保育の教材を作成する(3)作成、制作

<p>【事前学習】グループごとに作業の進捗状況を確認する(0.5 時間)</p> <p>【事後学習】学んだことや経験したことを各自のノートにまとめる(0.5 時間)</p>
<p>10、協力して保育の教材を作成する(4)作成、制作</p> <p>【事前学習】グループごとに配布資料を読み必要な材料を揃える(0.5 時間)</p> <p>【事後学習】学んだことや経験したことを各自のノートにまとめる(0.5 時間)</p>
<p>11、協力して保育の教材を作成する(5)作品の発表</p> <p>【事前学習】発表に際して各自が準備しノートにまとめる(0.5 時間)</p> <p>【事後学習】学んだことや経験したことを各自のノートにまとめる(0.5 時間)</p>
<p>12、協力して保育の教材を作成する(6)作品の発表</p> <p>【事前学習】発表に際して各自の役割をノートにまとめる(0.5 時間)</p> <p>【事後学習】学んだことや経験したことを各自のノートにまとめる(0.5 時間)</p>
<p>13、協力して保育の教材を作成する(7)作品の発表</p> <p>【事前学習】発表に際してグループの目標をノートにまとめる(0.5 時間)</p> <p>【事後学習】学んだことや経験したことを各自のノートにまとめる(0.5 時間)</p>
<p>14、今学期のレポートの作成</p> <p>【事前学習】今学期をふりかえり不足の資料を点検する(0.5 時間)</p> <p>【事後学習】学んだことや経験したことを各自のノートにまとめる(0.5 時間)</p>
<p>15、今学期のレポートの作成</p> <p>【事前学習】全体を通して反省点や省察をノートにまとめる(0.5 時間)</p> <p>【事後学習】学んだことや経験したことを各自のノートにまとめる(0.5 時間)</p>
<p>【学習のあり方】</p> <p>各自のテーマに沿って主体的に取り組むこと。アクティブ・ラーニングの姿勢をもとに積極的に学ぶことが必要である。</p>
<p>【成績評価】</p> <p>作品の成果物の提出(50%)、レポート(30%)、発表(20%)で総合的に評価する。</p>
<p>【課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法】</p> <p>レポートはコメントをつけて返却する。</p>
<p>【テキスト】</p> <p>特に指定はしないが必要に応じて文献や資料を紹介する。</p>
<p>【参考文献】</p> <p>相川充「子どものソーシャルスキルー友だち関係に勇気と自信がつく42のメソッド」合同出版</p>
<p>【実務経験の有無】</p> <p>教育委員会のスクールカウンセラーおよびスーパーバイザーとして勤務、東日本大震災等における緊急支援教育活動、教員や保育者研修の講師</p>